

英語教師の リソース

RESOURCES FOR
ENGLISH TEACHERS

基本文や語彙を 文脈の中で理解できる チャンツ

宮下 智恵美 Miyashita Chiemi
(長野県松本市山形村朝日村中学校組合立鉢盛中学校)

英語らしいリズムで基本文を楽しく覚えられよう、授業でよくチャンツを活用しています。筆者が愛用しているのは『実践家からの児童英語教育法』（中本幹子著 アプリコット社刊 全3巻一解説編・実践編AB・実践編CD）です。この本はそのタイトルからも児童向けに書かれたものと思われそうですが、教科書に出てきた文型や語彙を中学生が覚えるためにも大変効果的です。その一番の魅力は、基本文の意味やそれが使われる場面を文脈を通して即座に理解できる点です。日常生活によくある場面を題材に、楽しい挿絵と軽快なリズムで英文が示され、聞いているだけで状況をイメージできます。

例えば次のチャンツ（実践編 CD, p.51）は have to の口頭練習としてはもちろん、基本文の導入に位置づけ、have to の意味を推測させる活動や、応用練習として教科書とは違った場面での have to の使い方を知る活動にも利用できます。

Turn off the TV

Turn off the TV. Turn off the TV.
You have to do your homework now.
Right now? ×× Yes, right now!
(中略)

Turn off the TV. Turn off the TV.
You have to go to bed now.
Right now? ×× Yes, right now!

また、このチャンツは have to のような 1 つの文法項目に焦点を当て、その英文を単独で扱うのではなく、親子の会話の中で have to が使われているので、関連した前後の慣用表現も同時に学ぶことができます。



『実践家からの児童英語教育法』全3巻
解説編・実践編 AB・実践編 CD
(2003© 中本幹子著 アプリコット社刊)

次のチャンツ（実践編 CD, p.55）では対義語をはじめ関連語彙が数多く示されているので、生徒の語彙力の向上に有効と思われます。筆者は聞こえてきた英文内容順に該当する絵を選ばせるなど、聞き取りとしても活用しています。軽快な繰り返しとユーモアある挿絵が助けとなり、one の用法を理解できるだけでなく、教科書に出てこない形容詞の発音や意味に、無理なく親しむことができます。

Which Dog is Yours?

Which dog is yours?
The little one? The big one?
The ugly one or the pretty one?
Bow, wow, wow.
(以下略)

こうしてチャンツで練習したあとに表現活動を位置づけると、インタビュー活動など、話す場面ではリズムや語順に耳慣れているせいか、英語が苦手な生徒でも比較的スムーズに基本文を使うことができます。また、書く活動では、以前チャンツに出てきた単語や表現も活用して英文を書く姿が見られ、教科書で学習した語彙に加え、生徒の表現力の広がりを感じます。

最後になりましたが、この本のチャンツが文型や語彙だけでなく、異文化理解、他者理解的な視点からも内容が構成されているのも素晴らしい点です。女性消防士、盲導犬を扱ったチャンツ等、英語を通して生徒が気づき、ともに考える場となります。

『実践家からの児童英語教育法』は、筆者のおすすめの教材です。是非お試しください。